

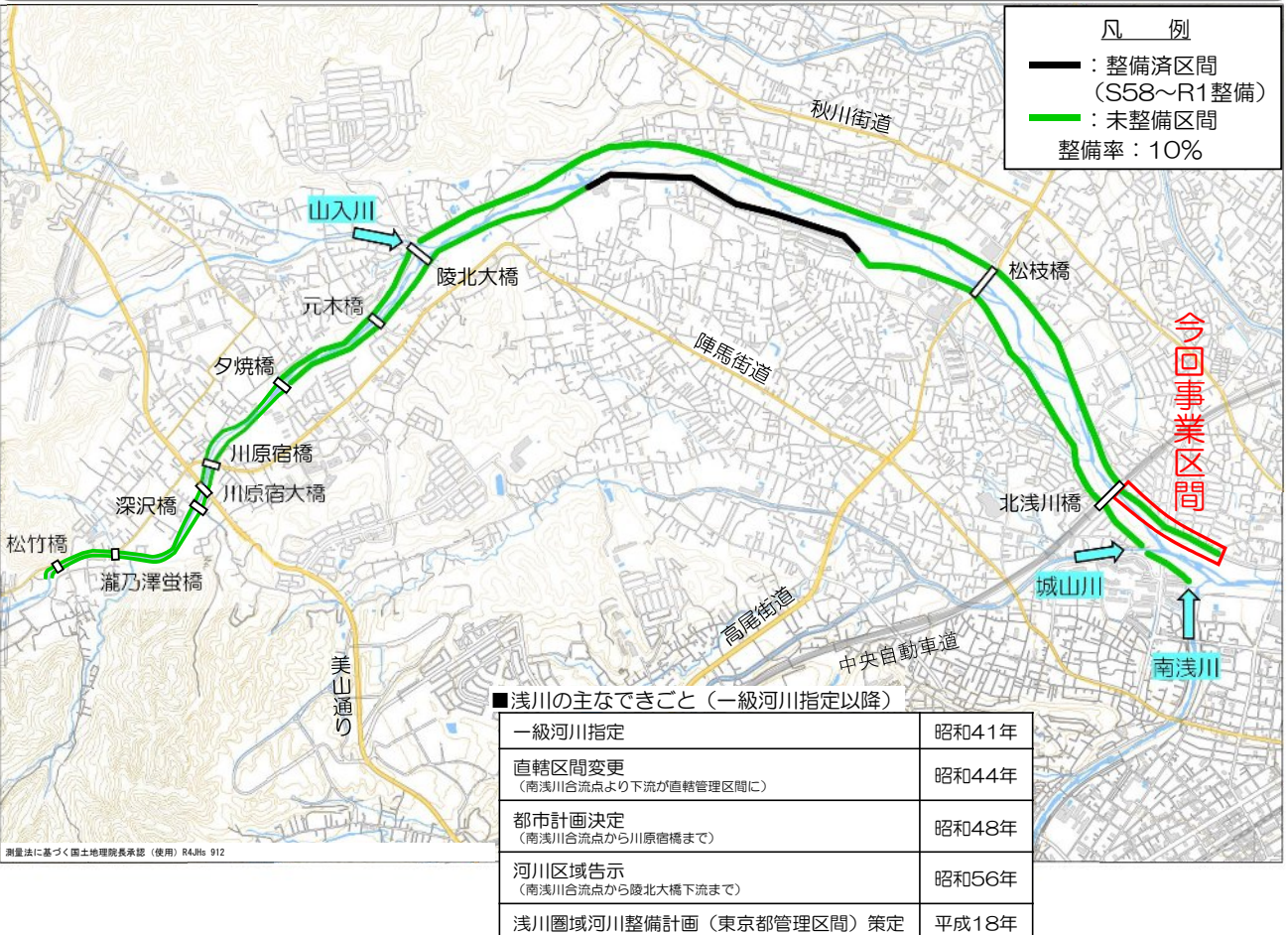
浅川流域の概要

浅川は、陣馬山に源流を發し、八王子市、日野市を東流したのち、日野市落川地先で多摩川に合流する一級河川です。

流域面積156.1km²

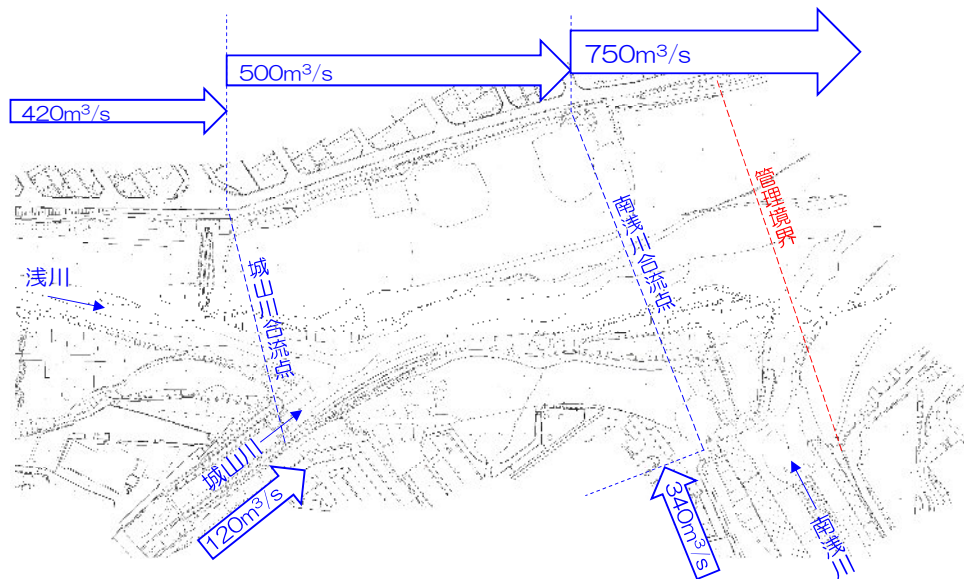


浅川の整備状況



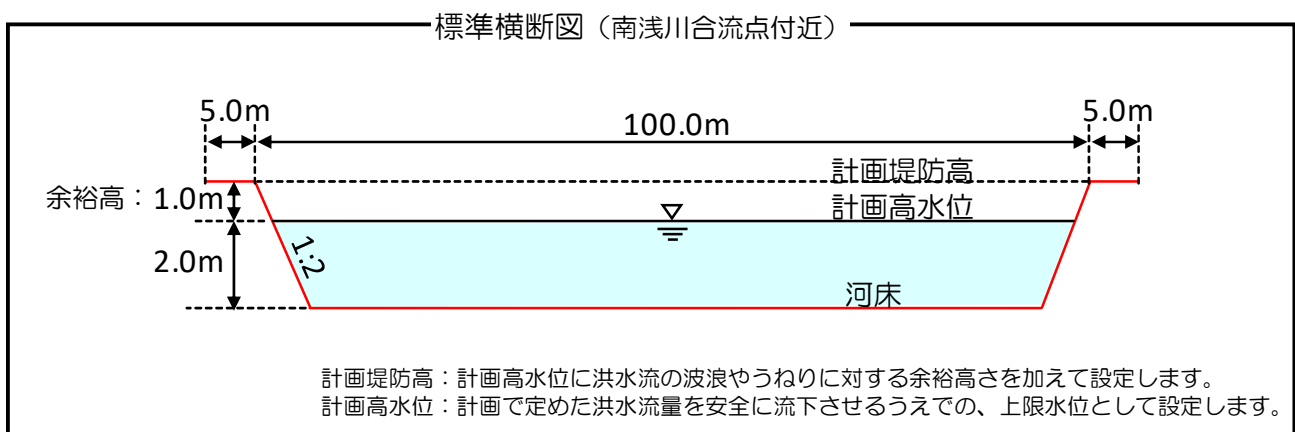
浅川・南浅川合流点の治水計画

- 都が管理する浅川流域の河川における整備目標や整備内容は、「多摩川水系 浅川圏域河川整備計画（東京都管理区間）」（平成18年6月 東京都）に定めています。
- 時間50ミリ（年超過確率1/3の規模*）の降雨により発生する洪水に対応する河川整備を目標としています。
※「年超過確率1/3の規模の降雨」とは、毎年、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1/3（33%）であることを示しています。



- 浅川・南浅川合流点付近では、城山川合流点上流までの流量420[m³/s]、南浅川合流点上流までの流量500[m³/s]、南浅川合流点より下流の流量750[m³/s]を安全に流下できるように整備計画されています。

- 河川の一定区間ごとに、河川整備計画流量を安全に流下させるための標準断面が設定されており、これをもとに河川を整備します。



コラム - 河川の必要諸元

- 整備する堤防の形などをどのように決めているのですか？
 - 「河川管理施設等構造令」という技術基準を順守することが求められます。
 - 想定する流量に応じた“確保すべき川幅”や“堤防の高さ”の標準値を、河川整備計画に定めています。
 - 実河川では標準断面だけにとらわれず、現況河川の幅員や河川環境、親水性に配慮して設計を進めます。

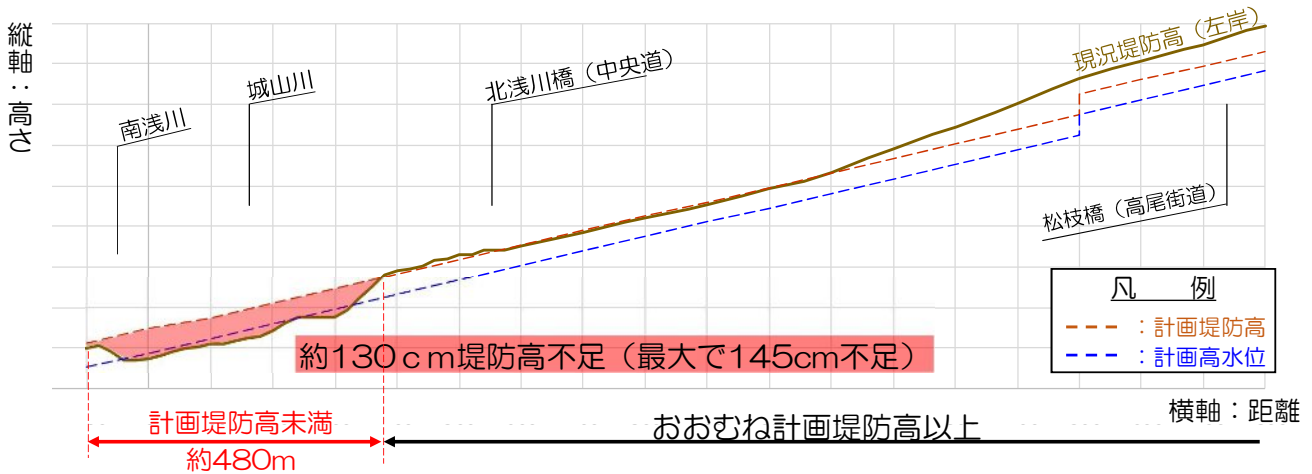
浅川左岸堤防整備の必要性

○都管理区間始点から北浅川橋までの左岸堤防は、

- ① 計画堤防高を満たしていない区間が約480m存在する。
- ② 南浅川合流点周辺で堤防高が一番低い。
- ③ 川沿いの土地の低さが低い。

○地域住民から提出された「浅川及び南浅川合流部の堤防整備に関する請願」（請願30第54号）が平成31年3月に都議会で採択

➡ 浅川・南浅川合流点周辺の洪水に対する安全度を高める上で、浅川左岸堤防整備の優先度が一番高い。



必要堤防高さのイメージ



※すべて路面からの高さ

合流点の現在の状況

①整備済みの状況



②背後地道路および桜並木



③清川河川公園



④清川河川公園グラウンド



⑤背後の道路およびサイクリングロード



⑥直轄管理区画(左岸側)



⑦直轄管理区画(右岸側)



⑧多賀公園



⑨多賀公園およびサイクリングロード



⑩山形入坂路



⑪浅川河川敷芝生公園



⑫橋を越えより上流を望む



浅川左岸の堤防整備にあたる主な課題

①河川区域内の桜

道路沿い（河川区域内）の桜を残す方法は？



桜並木

②高水敷のグラウンド

堤防整備により、グラウンドはどのくらい狭くなる？



グラウンド

③河川敷へのアクセス

堤防整備後の浅川ゆったりロードや河川敷へのアクセス路は？



浅川ゆったりロード、グラウンド入口

④都市計画道路事業

橋梁工事が予定されている部分の堤防整備は？



都市計画道路との交差点